

意見の概要及び市の考え方について

番号	意見の概要	市の考え方
1	昨今の IT、ICT、IOT、AI 技術の発展はめまぐるしく、大分市においても、スマートフォンなどによる特殊詐欺やサイバー攻撃、マルウェア感染等があり、IT のセキュリティと防犯 DX の必要性が大きい。広く市民に正しい情報を提供し、インターネットの活用方法やリスクマネジメントについて教育、研修する場に力を入れることで、事案の解決、詐欺の防止、スマホの安全性の高まりにつながる。市民を対象に集合型研修やリモート研修などにより、短期間に品質の高い情報セキュリティ教育を実施することが急務であると考えます。	本市では、高齢者・障がい者を含めた誰もが安全に ICT を利活用し、広くその恩恵が得られるよう、市民向けにパソコン・スマートフォン・タブレット教室や情報モラル講習を実施するとともに、ICT の活用に関するサポートをする市民ボランティアの育成に取り組み、情報活用能力の向上を図っております。今後も市民が ICT を安全・安心に利用できるよう、機器の使い方と併せ、情報モラル、情報セキュリティに関する講習等を全市 13 地区公民館等において開催してまいります。
2	エスペランサコレジオについて、年齢制限があっても今の時代にそぐわないと感じます。リスクリングや学び直しが必要なので、年齢制限の撤廃とオンライン受講が可能になると、市民の学びの場の向上になると思います。また、地域の伝統文化の継承について、有償ボランティアの登録制にして、他市町村からの参加も可能にできる取組があるといいと思います。	エスペランサ・コレジオは、生活に必要な職業的専門知識や技能の習得、並びにコミュニケーション能力の向上を支援し、社会的自立可能な青少年等を育成することを目的に設置しております。入学資格は、年齢が 15 歳以上 39 歳以下（高校生は除く）の人となっており、定員に満たない場合は 40 歳以上の人も入学できます。今後もニーズ調査等を実施しながら、時代の変化に応じた事業内容となるよう検討してまいります。地域の伝統文化の継承については、希望する市内の小中学校において、伝統的に受け継がれてきた舞や古楽を体験する伝統芸能ふれあい教室を実施しております。また、本市では、令和 6 年度から、令和 9 年度の文化庁認定を目指して「大分市文化財保存活用地域計画」の作成作業を進めております。本計画を策定する中で、地域に所在する古くから伝わり、残されてきた文化財や伝統文化の保存や継承等の考え方を検討してまいります。いただいたご意見については今後の取組の参考にさせていただきます。
3	氷河期世代の私は、一度正職になったのですが、35 歳で辞め、それ以降ずっと非正規で職を転々としております。今の 4,50 代の平均貯蓄高とか国などの指標を見ると酷く、仮に正職であってもバブル世代の人員が多くポストの空きがないようです。そういった方の指標とか大分市では把握されていないのでしょうか。また、このような人の人権なども大事ではないでしょうか。	本市では、貯蓄高は把握しておりません。人権とは、誰もが生まれながらにして持っている人間として幸せに生きる権利であると認識しております。本市では、全市民を対象に「おおいた人権フェスティバル」を開催し、年間を通じて人権啓発イベントや講演会等を行っております。今後も「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」に向け啓発活動に取り組んでまいります。